


研究機関名	城西大学				
プログラム名	AIが行う分析はアンケートデータをどのように変化させるのが体験しよう				
先生(代表者)	栗田るみ子(くりたるみこ)・城西大学経営学部・特任教授				
自己紹介	教育工学を専門に長年研究活動をおこなって来ました。 得意とする分野はコンピュータを使った教材開発です。特に画面デザインは操作性を高めるためにとても重要だと考えています。例えば横書きのパンフレットやパソコン画面を認識するとき、人の目は左上から右へそして左下へ、右へとZ形で移動します。一番注目してほしいものはどこに配置するか大切です。				
開催日・募集対象	2024年8月20日(火)	受講対象者	高校生	募集人数	各回 10名
集合場所・時間	城西大学経営学部棟 307PC 室		(集合時間)	9:00 ~ 9:30	
開催会場	住所: 〒350 0295 埼玉県坂戸市けやき台1 - 1 城西大学 アクセスマップ URL : https://www.josai.ac.jp/access/sakado/				

内 容

この講座はパソコンを使いますが、パソコン操作が得意や不得意は全く関係ありません。パソコンが生み出す結果のあなたのアイデアがとても大切です。

この2つの図はAIが作り出したアンケートの分析結果です。言葉と言葉の関係を繋げて意味づけしたり、文章の前後から言葉の重要性を洗い出したりしています。

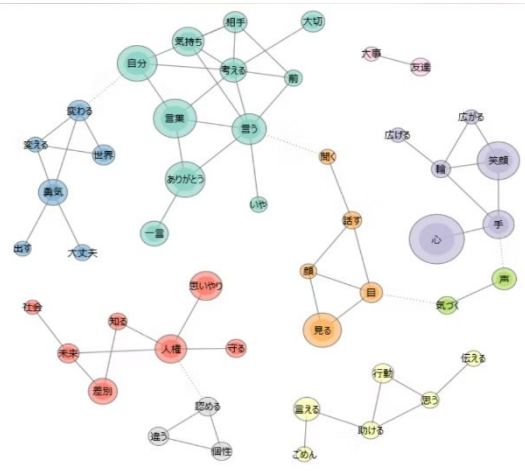
皆さんは、アンケートや街頭のインタビューで「好きな食べ物は何ですか?」「将来の夢は?」など聞かれたことはありませんか。これらアンケートはその後どのようにして分析し、ビジネスや研究に使われるのでしょうか。

アンケートやインタビューは人々の心理を洗い出すのに役立ちます。分析はもちろんパソコンを利用しますが、近年AIによる処理が盛んになってきています。最近の例ではChatGPTがありますね。

数字だけではなく、文字を分析解析することは、文系学問、理系学問に関係なく全ての学問において必須のスキルとなってきます。

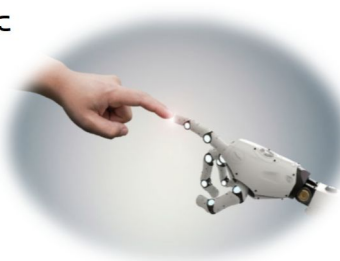
「自由にお書きください」とあるアンケートデータの文字(日本語や英語など)をAIで処理してみましょう。

文字や数値のデータ分析はコンピュータの得意分野です。そして私達人間の得意分野はアイデアやひらめきです。



パソコンの得意と人間の得意を融合させることは現代の問題解決課題発見につかわれるのです。コンピュータがことばを分析するテキストマイニングとあなたのひらめきからヒットするアイデアを生み出す経験を一緒にたのしみましょう。

ひらめきやときめきが待っていますよ。



持ち物	特記事項
筆記用具 携帯電話またはカメラ付き PC	携帯電話やカメラ付 PC を持参できない場合は、貸し出します。
スケジュール	
<p>9:00-9:30 受付 (17 号館 307 教室)</p> <p>9:30-10:00 開講式 (担当教員挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)</p> <p>10:00-10:30 講義「情報とデータの違いを考える」(講師：栗田るみ子)(17 号館 - 306 教室)</p> <p>10:30-12:00 実習「AI ソフトを使って既存のデータを分析」、「日本語の表現から解析結果が異なることを体験」(17 号館 307PC 教室)</p> <p>12:00-13:30 昼食・キャンパス見学 (水田図書館、水田美術館を自由に見学)</p> <p>13:30-14:00 講義「多変量解析でわかること」(講師：栗田るみ子・高橋欣也)(17 号館 306 教室)</p> <p>14:00-15:30 実習 1 「多変量解析の具体的な手法である・クラスター分析・多次元尺度構成法 (MDS)・自己組織化マップ・共起ネットワークを使った分析実験」(17 号館 307PC 教室)</p> <p>15:30-16:30 実習 2 「青空文庫からのデータを分析しチームで解析結果を洗い出す」(17 号館 307PC 教室)</p> <p>16:30-17:00 修了式 (アンケート記入)</p> <p>17:00 終了・解散</p>	